

産業建設委員会記録

令和4年8月5日開催

- 1 日 時 令和4年8月5日(金) 10:26~10:37
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席委員 幸坂委員長 佐々木副委員長
横田委員 武田委員 福島委員 西川委員
久米委員 橋本委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 正副議長 平山議長 湯浅副議長
- 6 傍聴議員 荒谷議員 渡部議員 金久議員 住友進一議員
沢本議員 福谷議員 藤本議員 奥田議員 陶久議員
- 7 出席理事者 表原市長 山本副市長 松崎政策監 桑村政策監
橘産業部長 豊田建設部長 倉本特定事業部長
藤原水道部長 幸泉農林水産課長 数藤商工政策課長
清原まちづくり推進課長 佐坂秘書広報課長 他
- 8 事務局 阿部事務局長 谷崎課長補佐
- 9 傍聴者 なし
- 10 記者席 2名

【 会議の概要 】

開 会 10 : 26

幸坂委員長 おはようございます。ただ今から産業建設委員会を開会いたします。
初めに、市長から御挨拶をいただきたいと思ひます。
表原市長。

表原 市長 改めまして、本日は産業建設委員会を開催いただきまして、誠にありがとうございます。
早速ではございますが、本委員会に提案をさせていただきます案件につきましては、令和4年度一般会計補正予算案1件でございます。御提案申上げました案件につきまして、御審議の上、原案どおり御承認を賜りますようお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、開会に当たりましての御挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

幸坂委員長 ありがとうございます。
本委員会に付託されました案件は、市長提出議案1件であります。
早速、議案の審査に入りたいと思ひます。

第1号議案 令和4年度阿南市一般会計補正予算（第2号）について

幸坂委員長 第1号議案 令和4年度阿南市一般会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。第1号議案については、7月25日に開催されました全員協議会で説明を受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思ひます。
質疑ありませんか。
橋本委員。

橋本 委員 挨拶からも急いでいるようなので、1点だけ、ちょっとわかりづらかったので教えていただきたいんですが、水産業振興費の問題です。燃油価格高騰対策支援金のことですが、最初の説明では、セーフティネットの229名の分と聞いたんですが、1, 229万8, 000円というのは、どれだけの人がどのようなかたちで、例えば船を持っている末端の漁業者までいくのかどうか、そこがちょっと知りたいので教えていただきたいと思ひます。
以上です。

幸坂委員長 幸泉農林水産課長。

- 幸泉 課長 農林水産課の幸泉でございます。
橋本委員の御質問に御答弁申し上げます。
どれだけ、どの方までの御支援になるかということでございますが、市内7漁協に聞き取りをいたしまして、全組合員数が395人いらっしゃるそうです。そのうち、セーフティネット加入者が229名、未加入者は166名となっております。これをもとに、県が実施いたしますセーフティネットに対する支援プラスセーフティネットに入っていない人、未加入者の補てん金として今回、1,229万8,000円を支援いたします。
セーフティネット加入者につきましては、国、県の支援があったあとの分の2分の1を市が今回支援をいたします。未加入者が166人いらっしゃるんですが、実際、そのうち船を持っているであろう人は81人程度とは思いますが、ここははっきりいって数字がちょっと読めないところがございますので、その方につきましては、県がまず、国の支援がございませんので、県の支援が2分の1でございます。その残りの2分の1を今回、市のほうで支援をするという形になります。
以上でございます。
- 橋本 委員 ありがとうございます。分かりました。
- 幸坂委員長 ほかに質疑ありませんか。
佐々木副委員長。
- 佐々木副委員長 プレミアム付き商品券について、この取組はいいと思います。ただ、例えば今回のやり方も、換金するまでに時間がかかるなどの理由で加入しない人も多いかなとは思いますが、その利用されている飲食店とか、その商店とかで、この券を使った売上げが全体のどれぐらいか、この券がどれぐらい効果を発したのかというのは、それは何らかの形で調べたりしているのでしょうか。
- 幸坂委員長 数藤商工政策課長。
- 数藤 課長 商工政策課、数藤でございます。
佐々木委員の御質問に対しまして御答弁をさせていただきます。
昨年度の業種別の売上状況を阿南商工会議所に調査していただいたんですが、その中で業種別の換金実績の件数割合ということで、小売業が51パーセント、飲食業が24パーセント、サービス業が24パーセント、その他業種が1パーセントということになっております。
以上、御答弁とさせていただきます。
- 幸坂委員長 よろしいでしょうか。
佐々木副委員長。
- 佐々木副委員長 小売業では、半分以上がこの券を持って買い物に来たということではないのですか。あと、飲食店なども21パーセントの売上げがこの券だったということですか。
- 幸坂委員長 数藤商工政策課長。

数藤 課長 業種別の換金実績ということになりますので、実際に商品券を持って小売業のほうに51パーセント、飲食業に24パーセント、サービス業に24パーセント買い物に行ったということになっております。
以上、御答弁とさせていただきます。

幸坂委員長 佐々木副委員長。

佐々木副委員長 これで当然、利用された店が効果が出ているということで、それはいい効果を出したんだと思うんです。実際、換金手続きとかがネックになっているということを聞く中で、今回も同じように手間暇、時間がかかる方法というのは、仕方がない部分もあると思いますが、今後、このような取組があるかどうかはわかりませんが、また、より使いやすい制度というのを工夫、考えていただくことも大事なかなと思いますので、意見として言わせていただきます。
以上です。ありがとうございます。

幸坂委員長 ほかに、久米委員。

久米 委員 1点だけ。農業者主食用水稻生産継続支援金のことですが、10アール当たり3,000円ということで、大体、15袋ぐらいの収穫になるかと思いますが、1袋当たり200円という単純計算になるわけですが、聞くところによりますと、私は農業者ではありませんが、この袋1枚当たりが100円近くなるそうなんです。その比較は別にしましても、今回、第1弾目としては了承するものでありますが、ぜひ、第2弾、第3弾と続けられることを期待をするところでもありますので、それについての見解がございましたらお願いしたいと思います。
以上です。

幸坂委員長 幸泉農林水産課長。

幸泉 課長 農林水産課の幸泉でございます。
今回、久米委員御指摘のとおりですが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、主食用米の販売価格が大幅に減少して、また、肥料の高騰など、県下有数の早期米の生産に支障が生じている農業者に対して、今回、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を効果的に活用させていただくということで、10アール当たり3,000円の支援をさせていただくということ、スキームを立てさせていただきました。
燃油のこととか農業のほうでも支援の方法というのはいろいろあると思いますが、それに対しても、県の支援であるとか、そういうものもあるとお聞きしておりますので、今回は市の主要産物である水稻について支援をさせていただくということで、よろしく願いいたします。

幸坂委員長 ありがとうございます。
久米委員。

久米 委員 ありがとうございます。

幸坂委員長 ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

幸坂委員長 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。
これより、第1号議案を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

幸坂委員長 御異議なしと認めます。よって、第1号議案 令和4年度阿南市一般会計補正予算(第2号)については原案のとおり可決されました。

質 疑 終 了 ・ 採 決
全 会 一 致 ・ 原 案 の と お り 可 決

幸坂委員長 以上で、本委員会に付託されました案件の審査が終了いたしました。
これで、本委員会を閉じることいたします。
閉会に当たり、表原市長より御挨拶をいただきます。

表原 市長 本日は産業建設委員会を開催いただきまして、誠にありがとうございました。そして、提案をさせていただきました案件につきましては、原案どおり御承認を賜り、厚く御礼を申し上げます。審議の中で賜りましたさまざまな御意見、御提言につきましては、今後の市政運営に生かしてまいりたいと存じております。以上でございます。本日は誠に御世話になりました。

幸坂委員長 以上をもちまして、産業建設委員会を閉会いたします。

閉 会 10:37
